



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信編集部です。7月になり2022年も後半に入ったわけですが、7月2日は年始から数えて183日目、365日のちょうど真ん中の日になります。「何とか1年の半分を無事に過ごしたぞ!」と、ささやかな祝杯でもあげたい気分になりますね。さて、7月7日(北海道は8月7日)は七夕です。願い事を書いた短冊を竹や笹に結んで飾っている風景は、夏の風物詩ですね。さらさらと風になびく笹の葉、かすかな音も素敵だなと感じます。なぜ笹なのかというと、上に真っすぐに伸びて根を広く張って生命力にあふれているからとか、葉が擦れる音が神様を呼ぶ音色だと信じられていたからともいわれます。いずれにしても、涼し気な様が夏にぴったりですね。七夕は織姫と彦星が年に一度だけ天の川に橋をかけて会うことを許されたという星祭の伝説で知られていますが、古来にはお盆を迎える前に梅雨の穢れを祓うという儀式がありました。牛や馬を水浴びさせたり、女性が水辺で髪を洗ったり、また道具などを洗ったり、井戸の底をきれいにするといった禊を行っていたのですね。機織りをする織姫と牛飼いの彦星が七夕に天の川で会えるというのも、禊の風習にならったからなのかもしれません。七夕は3月3日の“桃の節句”や5月5日の“端午の節句”と同じ五節句の一つで、本来は“七夕の節句”といいます。ちなみに残りの2つの節句は1月7日の無病息災を願う“七草の節句”と、9月9日の健康と長寿を願う“菊の節句”です。こちらの2つはあまりなじみがありませんが、一年の節目に立ち止まって身の回りのことに気を配るということのも大事かもしれませんね。七夕は織姫にちなんだ願い事をするものなので、裁縫、染め物などの手仕事や、詩や習字など勉強の上達を願うのが良いとされていますが、現在ではバラエティに富んだ願い事がたくさんみられます。七夕が近くなると、ショッピングセンターにも笹と短冊が用意されることが多いので、願い事を書いたことがある方もいらっしゃるのでは? 結ばれた短冊をちょっと拝見するのも楽しいですね。今年はどんな願い事をしましょうか? ふれディア通信編集部

幸福の前ふれ? ラッキージンクス&アンラッキージンクス

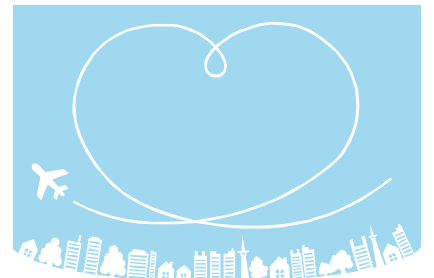
不幸の子兆?



今月のジンクス

「雲にまつわるジンクス」

青い空に白い雲がモクモクと浮かんでいると、「これぞ夏!」と感じますよね。雲は気象のサインのひとつでもあります。ジンクスもさまざまあるようです。まずは、薄い雲が朝日や夕日に照らされ虹色に輝く雲「彩雲さいうん」に出会った時。幻想的な風景に心も癒されますが、昔から縁起のよい雲とされていて、アンラッキーなことが続いている人が見ると、悪い流れを断ち切ってくれるそうです。また、「飛行機雲」を見かけた時に3回お願いごとをすると叶うというジンクスもあります。流れ星のようですね。さらに、飛行機雲が2本平行で浮かんでいたり、クロスしていたりすると、効果は2倍という説もあります。そして、龍の形に似た「龍雲りゅううん」「龍神雲りゅうじんうん」を見かけた時も幸運のサイン。古くから縁起の良いものとされてきた龍ですが、特に金運上昇の兆しアリだそうです。臨時収入があつたりクジに当たるなどラッキーなことがあるかもしれませんよ。



日本や世界には、さまざまなジンクス・迷信・言い伝えがあります。ただし、ジンクスはあくまでもジンクス! アンラッキーなジンクスが起きても科学的な根拠はありませんので、ご安心くださいね。

